

2019年3月22日～24日 国際協同教育学会 台北大会

## 発表募集要項(日本語訳)更新版

東アジアと世界の協同学習：卓越性の獲得と持続

2019年3月22日～24日

国立台北教育大学、台湾

台湾協同学習プロジェクトと日本協同教育学会の共催で開催されます国際協同教育学会は開催校であります国立台北教育大学と共に2019年国際大会「東アジアと世界の協同学習：卓越性の獲得と持続」への皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2019年に創立40年となります国際協同教育学会は、設立以来、教育のあらゆる面で協同学習の研究と実践を強調し、その普及に取り組んでいます。また、2004年に設立されました日本協同教育学会はワークショップ、出版物、大会を通して日本の協同学習の体系的な実践の支援をリードしています。さらに、2012年から台湾文部省の後援を受けています台湾協同学習プロジェクトは、アクティブラーニング、協働的な交流、共通の利益という台湾の12年間基礎教育哲学を実現すべく学校の教室での協同学習の使用を促進しています。

今大会は下記の機会を提供します：

- しかけのある関与を通して、対話、尊敬、振り返りを育む協同の価値とモデルに基づいたイベントへの参加
- 教育的な協同の効果的な利用に焦点を当てた経験、プロジェクト、研究の共有のため世界中の仲間と繋がるための支援的な環境の体験
- 教育の卓越性を支える協同学習の使用の普及と持続を目的とされた台湾、日本などの長期プロジェクトについての学び
- カリキュラム改革や地域、国の方針が質の高い協同学習をどのように使用し統合し、支援されているかの深い理解
- 互恵的な関係や生涯学習に取り組み、自己制御、創造的な思考、協同的問題解決にかかわる責任ある市民を育成することにおける協同の必要不可欠な性質の探求

本大会は、学者、教員（公教育・非公教育にかかわらずあらゆる教育環境における）、教育関係者、教育政策立案者、教育管理者、学校職員、その他協同学習の探求や実践（地域、国家、世界レベルで）に関心をお持ちのすべての方々に適しています。

下記にてプロポーザルの提出方法の詳細を説明します。

## 【発表テーマ分野（ストランド）】

参加者間で活発な交流と対話が生まれるよう以下の5つの発表分野が用意されています。

### ストランド1 教室実践と教師教育

以下2点に焦点を当てるもの

- (a) 多様な教育環境での協同学習の実践
- (b) あらゆるレベルでの教員養成と教員研修

例えば：

- 学習者中心のアプローチで行う協同学習
- アクティブラーニング・協働的な相互交流・社会貢献のための協同学習
- 能力育成に基づくカリキュラムデザイン・指導・評価
- 様々な教科・レベルでの協同学習実践に関する方略・教授法・プログラム・研究
- 協働的な教室において自律的学習者を育成するための方略
- 継続的に実行可能な質の高い実践と評価
- 協同学習と教育の国家基準との統合
- 教員養成における協同学習と協働を促す教育法
- 職場における教師の協同と学び

### ストランド2 多様で相互に依存した世界における責任ある市民性

以下3点に焦点を当てるもの

- (a) 多様性と社会的包摂のための教育と学習
- (b) 学校や共同体における社会的統合・社会正義・公平性
- (c) グローバル化する世界で必要な能力開発のための知識・技能・価値観の探求

例えば：

- 学習障害などを抱える学習者の学びと交流を促進する指導デザイン
- 学校や共同体で協同や公平性を育てる教育法
- 社会的統合・グローバル化する世界で必要な能力・社会正義への献身を養う導・学習プログラム・学校の役割
- 社会活動参加型学習のケーススタディー・モデル・プログラム・研究
- 多文化・異文化間・グローバル教育のためのカリキュラム・学習・学校文化

### ストランド3 協同的リーダーシップと学校の発展

学校や教育機関全体で、あるいは地域や国のプログラムにおける協同学習と協同的戦略の実践（教育向上と運営のための政策に、協働的な価値観・原理・アプローチを革新的に応用する場合の効果を含む）に焦点を当てるもの

例えば：

- 学校や地域に体系的に取り入れる協同学習の実践

- 教育における協同的リーダーシップの特徴
- 教員の専門能力開発のための協同的モデル
- 学校全体に協同を促す組織的アプローチ
- 協同の技能と価値観を統合した場合の教育成果を検証する質的・量的研究
- 変革時に生じがちな衝突(対立)に対する協同的アプローチと解決法

#### **ストランド4** 創造性、革新性、および問題解決

協同にまつわる創造・変革・問題解決の関わりに焦点を当てるもの

例えば：

- 協同的環境で行う批判的/協同的思考・問題解決の教育に関するケーススタディー・方略・モデル・プログラム・研究
- 協同と創造性の連結（その実践及び質的・量的研究例を含む）
- 改革を成功させるために協同の果たす役割に関する実践と研究
- 芸術における、そして芸術を通しての学びとその学びが協同によってどのように強化され促進されるか
- グローバル世界の多様性を探求し、市民として関わるための手段としての芸術

#### **ストランド5** 情報、コミュニティ、およびテクノロジー

現代社会におけるテクノロジーの現状とそれがコミュニケーションに与える影響・情報利用可能性・インフォメーションリテラシーの重要性に焦点を当てるもの

例えば：

- テクノロジーを用いた学習の効果が協同によってどのように高められるかに関する方法論・ツール・ケーススタディー・研究
- 学習者・教師・授業・学校・組織・共同体におけるコミュニケーションと繋がりを強化するためのテクノロジー
- 協働の機会としての、または相互交流の妨げとなるオンライン上の共同体
- 情報の爆発的増加と、つながり合う世界に生き学ぶために必要なインフォメーションリテラシー

### **【発表形態】**

#### **ワークショップ (90分)**

ワークショップの目的は、参加者が活動に参加し、振り返ることによって学ぶ機会を提供することです。

ワークショップのファシリテーターは、理論的枠組みと、協同的・対話的で、入念に計画された経験型活動を、どのように結び付けるかを慎重に考えてください。

ワークショップの参加者は、ワークショップ中は、ほとんどの時間活動していなければならないということを理解しておいてください。

### **ラウンドテーブル・ディスカッション (45分)**

ラウンドテーブル・ディスカッションの目的は、特定のアイデアあるいはプロジェクトに関する対話を最大限に行うことです。

ラウンドテーブル・ディスカッションは、「発表者」と参加者がテーブルに着席して行われます。

ディスカッションの形態は、形式的な発表をなくし、対話を重視することで、十分にお互いが対話することを可能にします。自分の研究・実践についてのフィードバックを受けたり、他の参加者の研究・実践について知ったり、ネットワークを広げたりするのに理想的な形態です。

いくつかのラウンドテーブルは大きな会議室で同時に予定されています。

発表者は、ポスター、生徒の作品、自らの作品や論文のコピーを、席上で提示したり配ったりすることが奨励されます。

### **研究論文発表 (主に 90 分のセッションで 3 本の研究論文をまとめます)**

研究論文発表の目的は、発表者に、研究の主題と結論、研究が理論的かつ計画的であるか、あるいは研究の結果、を共有する機会を提供します。

各々の研究発表に質疑応答を含んで最大 25 分が割り当てられます。発表者は視覚補助物を利用し、自分の研究について、いくつかの主なポイントのみに焦点を当てるようにしましょう。

統計的な分析、実施設計と文献レビューに関する詳細は、口頭でも視覚的にも提示する必要はありません。むしろ、後に学会やメール等で、関心のある参加者に配布される研究論文には含んでおくといいいでしょう。

学会委員会では研究発表をグループにまとめます。もし 3 本の関連した研究論文を 1 つのセッションで連続して発表することを望むグループは、プロポーザル提出時点でそのようにお知らせください (プロポーザル申込用紙に記載できるようになっています)。

参加者は、質問したり、様々な論文との関連を考えたりする機会があると思っています。論文発表者は、プロポーザルを提出する前に、「あなたの口頭発表をより魅力的でインターアクティブにする方法」という文書をぜひご一読ください (ダウンロード元: [https://jasce.jp/data/more\\_attractive\\_and\\_interactive.pdf](https://jasce.jp/data/more_attractive_and_interactive.pdf))。

各プロポーザルは使用する協同学習の手法を記述し (例えば、フィッシュボウル、ローテーティング、インタビュー、リボルビング・パネル)、そして各コンポーネントに時間を割り当ててください。

もし 1 つのセッション全体を関連したトピックについて、複数の発表者で構成したい場合には、そのうちの一人が、このセッションのオーガナイザーになってください。

参加者は、発表中はしっかりと交流することが期待されています。

## 【JASCE を通しての大会申込日程】（IASCE の日程とは異なります）

- 2018年4月1日 発表申込受付開始  
2018年5月10日 ~~JASCEによるプロポーザルの英語補助を望む方の申込×切~~  
（終了しました）  
2018年6月1日 日本語によるプロポーザル受付開始（追加しました）  
2018年6月20日 日本語によるプロポーザル受付×切（追加しました）  
2018年6月30日 **プロポーザル申込×切**  
2018年8月20日 プロポーザル審査結果発表  
2019年2月1日 大会参加者確定（これ以降の発表辞退はご遠慮ください。）

JASCE を通して発表申込をしたい方は、必ず JASCE のホームページにリンクしてある日本語の申込フォーム（エクセル）を使用してください。記載すべきページは2ページありますので、両方とも必ず記入をお願いします。申し込みはEメールの添付ファイルとして国際大会支援委員会(icsc2018@jasce.jp)に上記期限までお送りください。

### 【日本協同教育学会による発表サポート】

JASCE ではできるだけたくさんの会員の方に発表していただけるよう、以下のサポートを行います。

#### 1. 大会参加費補助

JASCE が発表を適当と認めた方には、その方の国際大会参加費を JASCE が全額補助いたします。奮ってご応募ください。（以下をお読みください。）

#### 2. 英語サポート

英語での発表に慣れていない方のためにサポートをいたします。これは上述したIASCE によるサポートとは別の JASCE 独自のものです。

##### 1) JASCE 会員用プロポーザル申込ファイル

JASCE 会員専用の日本語訳付きプロポーザル申込ファイルを作成いたしました。JASCE を通して発表申込をなさる場合は、このフォームをお使いください。JASCE のホームページからダウンロードできます。これは EXCEL のフォームですがこれが正式なものです。また、シートが2枚ありますので、両方ともにご記入をお願いします。また、JASCE のプロポーザル査読後、承認された方は JASCE で一括して国際大会事務局に申し込みをします。国際協同教育学会の 2019 年大会ページから個人で申し込む必要はありません。

2) プロポーザル作成サポート（受け付けは終了しました。）

プロポーザル（発表申込・発表要旨）を書く時のサポートを望まれる方は 2018年5月10日（木）までに国際大会支援委員会 (icsc2018@jasce.jp) までご連絡をください。IASCE のホームページ (<http://www.iasce.net/>) に申込フォームなどが掲載されておりますが、JASCE を通して申し込みをされる方は、それは使用しないでください。1) に示しました JASCE 会員専用のフォームをご使用になり、まずはご自分で書いてみてください。日本語まじりの英語でもかまいませんので、自分なりに作成したものを添付ファイルでお送りください。早めのご準備をお願いいたします。これは EXCEL のフォームですがこれが正式なものです。また、シートが2枚ありますので、両方ともにご記入をお願いします。

3) 発表原稿作成サポート

プロポーザルが承認された方で発表原稿そのものの英語サポートをご希望の方は、まずご自分で頑張って英語にするか、どなたかお知り合いの人に英訳をお願いしてください。その後、それをもとにサポートさせていただきます。プロポーザルが承認されましたら、速やかに国際大会支援委員会 (icsc2018@jasce.jp) までご連絡ください。

4) 口頭発表サポート

当日発表の際にも、発表補助者がサポートいたします。発表そのものはご自身で行っていただきますが、フロアとの交流や質疑応答の際のヘルプを発表補助者が行います。プロポーザルが承認されましたら、速やかに国際大会支援委員会 (icsc2018@jasce.jp) までご連絡ください。

6) 英語の補助を必要とされない方も、JASCE からの大会費補助を受けるには、6月30日（土）までに、国際大会支援委員会 (icsc2018@jasce.jp) までプロポーザルをお送りください。英語および大会費補助を必要とされない方は直接個人で IASCE にプロポーザルをお送りください。

7) 日本語によるプロポーザル提出が新たなサポートとして加わりました。詳しくは日本協同教育学会ニュースレター5月号をお読みください。

（日本語版作成者責任者：伏野久美子 翻訳担当：大場浩正、木村晴美、和田珠実）